

AOI TYO Holdings

第 1 期

Business Report

2017.1.4 — 2017.12.31

証券コード: 3975

企業と生活者を“感動”でつなぐことが AOI TYOグループの使命です



代表取締役会長 CEO 吉田 博昭

AOI TYO HoldingsはAOI Pro.とTYOの経営統合により、メディアの売買をしない広告企画・制作会社としては国内業界最大の企業体となりました。

私たちはもともとテレビCMの制作会社として大きな実績を築きあげ、経営統合後も各々のブランドとして独自性・独立性を維持しながら、多岐にわたるクライアントのテレビCMを数多く手掛けております。年間CM制作数は1,700以上に及び、皆様がテレビでよくご覧になるCMの3本に1本は私たちの作品です。

現在、メディア（媒体）やデバイスの多様化に加え、テクノロジーの劇的な進化もあいまって環境が激変している広告業界において、AOI TYOグループとして業務の効率化施策の共通化を図ると共に、新たな映像制作技術や体験設計事業の開発、広告主との直接取引を強化する等、先進的なビジネスモデルを推進しております。

これからは私たちの強みである<人を感動させるクリエイティブな力>を武器として、広告の領域にとどまらず、広く<感動のビジネス化>を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、どうかより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、長きにわたり映像制作事業を軸に「感動を創出する」ことで成長してまいりました。そして、新たな成長の原動力は、その知見とテクノロジーを掛け合わせたソリューション提供型のビジネスです。データ解析、AI、アドテクノロジー、VR/AR、センシングなど様々な技術を活用し、複数の感動創出ビジネスの構築を目指します。

社会の変化は想像を絶するスピードで加速しています。その只中で早期にビジネスモデルを確立させるためには、多様な事業パートナーとの協業、投資、そしてM&Aなど成長戦略をもとにスピーディーに判断し、力強く進める必要があると認識しております。

さらに私たちは働き方改革をはじめとした社会基盤の構造改革の先駆者となるべく、積極的に改革に着手してまいります。そのことは新規事業のみならず、既存事業のさらなる強化へと繋がることと確信しております。

AOI TYO Holdingsは多様なステークホルダーの皆様の期待に応えるべくこれからも邁進してまいりますので、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 COO 中江 康人



統合効果の早期実現へ

テレビCM制作業界で トップシェアの企業グループ誕生

● AOI TYO Holdings設立

テレビCM制作会社大手のAOI Pro.とTYOの経営統合により、業界No.1となりました。今後はグループとしてさらなる成長を目指します。

2017年
1月

2017年
11月～12月

2018年
1月

2018年
3月

● グループ事業の整理

▶ 子会社の整理

AOI Pro.の子会社であるビジネス・アーキテクト、TYOの子会社であるTYOアニメーションズ及びリアル・ティの株式を譲渡し連結範囲から除外。事業の選択と集中を進めています。

▶ 照明機材レンタル事業の集約

TYOの子会社であるTYOテクニカルランチの照明機材レンタル部門「SOL」の事業をAOI Pro.の子会社であるメディア・ガーデンへ譲渡、集約による効率化と、経費削減を図っています。

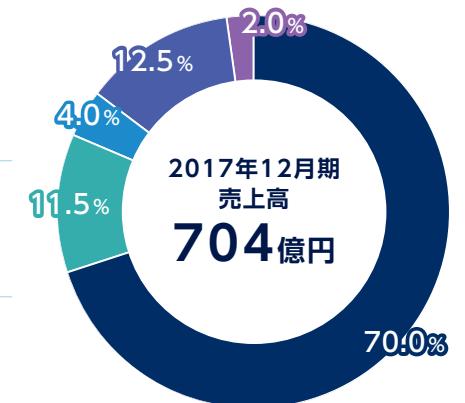
● コーポレート部門の機能集約

AOI Pro.とTYOの管理部門を統合し、当社へ機能集約しました。今後、業務の効率化・組織のスリム化を進めていきます。

● 本社を大崎へ移転

コーポレート部門の機能集約の一環として、AOI TYO Holdings本社を白金から大崎へ移転しました。同時に、資産の効率化のためTYO本社である目黒オフィスを売却しました。

事業区分	内容	取り組み状況
▶ 広告映像制作事業	テレビCMなど広告映像の企画・制作を手掛けています。AOI Pro.及びTYOの主力事業であり、経営統合により業界トップシェアを占めています。	採算性重視の営業管理体制を構築し、利益率の改善を進めており、実行利益率が向上しています。 ※実行利益とは、売上から外注費を除いた利益を指します。
▶ ソリューション事業	顧客の問題解決のための施策を提供する事業を手掛けています。広告主直接取引や、動画広告の企画制作からデータ解析、メディア配信までのワンストップサービスのほか、VR事業等も行っています。成長領域と位置づけ注力しています。	2017年12月期は売上が大幅に増加しました。また、本業務の一環としてベンチャーファンドへの出資も行っています。また、新規事業への展開を推進するため、新会社を設立するなど、積極的な投資を行っています。 ※詳細はトピックスページをご覧ください。
▶ 海外事業	中国及び東南アジアに拠点を構え、日系及び現地企業との取引拡大を図っています。また、M&Aの推進により、事業拡大を目指しています。	2017年、新たにベトナム最大手の映像プロダクションをグループ会社化。また、アジアのベンチャー企業を対象としたファンドに出資するなど、海外市場の拡大を目指しています。
▶ その他制作事業	広告映像以外の制作事業で、映画やドラマ、イベントの企画制作、デジタルコンテンツ制作や販促物制作を手掛けています。	
▶ 映像関連事業	写真スタジオの運営、ミュージックビデオの制作等を手掛けています。	



AOI TYO Holdings

スパイラル・ベンチャーズ「アジア事業創造ファンド1号」に出資

当社は、2018年1月、SPIRAL VENTURES ASIA FUND I「アジア事業創造ファンド1号」に対して500万USドルの出資を実施しました。

本出資をソリューション事業及び海外事業の成長戦略のひとつとして位置づけ、成長可能性の高いアジアのベンチャー企業と早期の段階で関係性を築き、投資先との協業体制を構築することにより、さらなる海外市場の拡大を目指します。また、その過程において当社グループが持つ広告・映像制作分野のノウハウを活かした事業展開も見込んでいます。

運用会社のSpiral Ventures Pte. Ltd.(本社:シンガポール)は、2013年2月の設立以降、高い経済成長率目標を掲げる東南アジアやインドの、アーリーからグロースステージの新興企業を主な投資対象とし、経営アドバイスのほか、日本企業とのビジネスマッチング機会の提供や、日本での事業展開及び事業立ち上げを支援するなど、投資先の企業価値向上を目指しています。



ファンド概要	
ファンド名称	Spiral Ventures Asia Fund I (アジア事業創造ファンド1号)
ファンドの形態	米ドル建てケイマン諸島籍
ジェネラルパートナー	Spiral Ventures Asia Ltd.
投資運用会社	Spiral Ventures Pte. Ltd.
組合員	日本、シンガポール域内の事業会社、機関投資家など
投資対象	主に東南アジア、インドのアーリー〜グロースステージのIT企業

AOI TYO Holdings

「CMヒットメーカーランキング」制作会社部門・プロデューサー部門にて3年連続1位獲得

グループ会社のAOI Pro.がCM制作に携わったブランド (au) が、CM総合研究所主催の「BRAND OF THE YEAR」*において、CM好感度1位の「BRAND OF THE YEAR 2017」を受賞、当社グループでは計6ブランドがTOP10入りしました。

さらに、同時に発表される「CMヒットメーカーランキング」では、制作会社部門において全81社の中からAOI Pro.が1位、TYOが3位、ワサビが8位を獲得。また、プロデューサー部門において全445名の中からAOI Pro.のプロデューサーが1位を獲得。TOP20には当社グループのプロデューサー計8名がランクインしました。制作会社、プロデューサーの両部門1位獲得は3年連続となります。

*「BRAND OF THE YEAR」は、消費者3,000人を対象にした月例CM好感度調査に基づき、東京キー5局で1年間に放送された全CMの中から好感度の高かったブランドを顕彰するもので、CM好感度1位のブランドには「BRAND OF THE YEAR」が贈られます。また、CM好感度上位作品の制作に携わった会社やスタッフは、「CMヒットメーカーランキング」として発表されます。

AOI Pro.

SOOTH株式会社を設立

グループ会社のAOI Pro.は、アルティテュードインキュベーション株式会社との合併により、2018年2月1日付で新会社を設立しました。

これまでのAOI Pro.体験設計部での、最新テクノロジーを取り入れたVR等のコンテンツの企画・制作、また特に飛躍的に進化するデバイスやAIを活用して得られる感情データを含むナレッジの蓄積を活かしたコンサルティング、これらを通じて培った経験をサービス化していきます。新しい商流に参画し、コンテンツプロデュースの未来を大きく拡張する事業へと進化することを目指します。

SOOTH

新会社の概要

名称	SOOTH株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目4番5号
代表者	代表取締役 額田 康利 代表取締役 今岡 裕輔
事業内容	体験設計コンサルティング/データ収集・活用を伴うコンテンツ企画・制作/データプラットフォームサービス提供/サービス・ソリューション開発

TYO

ベンチャー企業向けファンド「Ad Hack Ventures」の投資実績

グループ会社のTYOは、2017年8月、広告ニーズのあるベンチャー企業向けの「Ad Hack Ventures」ファンドを設立し、今後の事業成長が見込まれる企業に対し、出資を行いました。

株式会社ログバー (2017年10月、517百万円出資)

世界初のウェアラブル音声翻訳デバイス「ili」の開発・販売を手掛け、海外渡航者やインバウンド市場のニーズの充足による飛躍的な成長を見込む。

株式会社エブリー (2018年1月、100百万円出資)

日本最大級のレシピ動画メディア「DELISH KITCHEN」などの動画メディアを提供し、リーチ数は4,400万/月を超え、2015年9月の設立以来急成長を続ける。

株式会社サマリー (2018年1月、100百万円出資)

手元にある今使わないモノの取り出し/預け入れを手軽に行えるクラウド収納サービス「サマリーポケット」を提供し、近年急拡大するトランク市場での成長を見込む。



Works
制作実績 / AOI Pro.

※著作権保護のため、作品画像の
WEB掲載はしていません。

KDDI au
「笑おう」

住友林業
「たいせつな時間」

大塚製薬 カロリーメイト
「一歩を信じる」

ゼスプリ インターナショナル ジャパン
ゼスプリ キウィフルーツ「選ばれしキウイ」

リクルート タウンワーク
「SNS映え」

Double A (1991) Public Co., Ltd.
OK GO Muisic Video [Obsession]



©2018映画「恋は雨上がりのように」製作委員会 ©2014 庵月じゅん / 小学館

映画「恋は雨上がりのように」

AOI Pro.チーフクリエイティブオフィサーの永井聡が監督を務める本作は、小松菜奈さんと大泉洋さんをダブル主演に迎え、2018年5月25日より全国ロードショー (AOI Pro.出資・制作作品)



映画「HIGH&LOW THE MOVIE 2 / END OF SKY」
映画「HIGH&LOW THE MOVIE 3 / FINAL MISSION」

EXILE HIROさんが企画プロデュースし、2017年8月・11月より全国公開されたHiGH&LOWシリーズの映画第3弾&第4弾で、共に観客動員数100万人を突破した大ヒット作 (AOI Pro.制作作品)



©2017「HIGH&LOW」製作委員会

Works
制作実績 / TYO

※著作権保護のため、作品画像の
WEB掲載はしていません。

サッポロビール エビス マイスター
「ポートレートの前で」

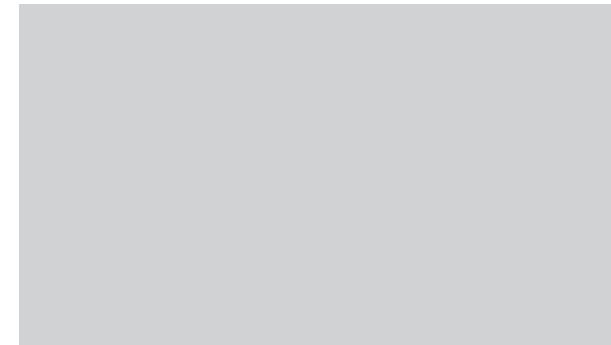
日本瓦斯
「ニチガス・ニ・スルー三世 訪問」

ピックルスコーポレーション
ご飯がススムキムチ「だいすけお兄さんススム」

湖池屋 スゴーン
「スゴーンなダンス」

エイベックス・エンタテインメント
三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE [J.S.B. HAPPINESS]

NHK WORLD
「DOMO! WORLD」

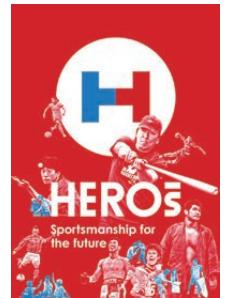


東海旅客鉄道 そうだ 京都、行こう。
2017年 秋「東寺」

NEWS

アスリートの社会貢献を表彰し、促進させる
HEROs AWARD / TYO企画・プロデュース

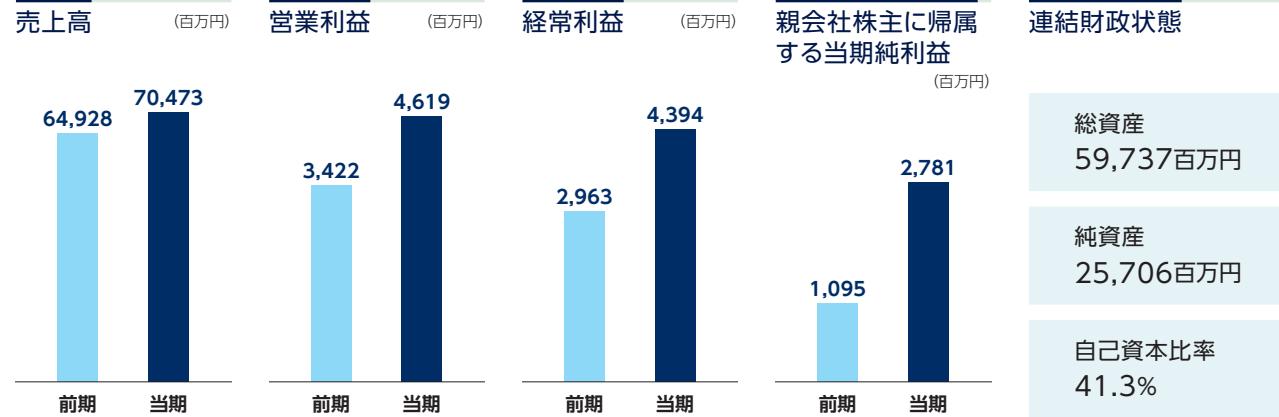
2017年10月、アスリートが社会とつながり活躍できる仕組みを広げていくためのプロジェクト「HEROs」が創設されました。TYOはこのプロジェクトに賛同し、社会のためにスポーツマンシップを発揮した選手やチームを評価・表彰し、アスリートの社会貢献活動を促進させる「HEROs AWARD 2017」の実行委員となり、企画・プロデュースも手掛けました。



Consolidated Financial Highlights 連結業績ハイライト (2017年12月期)

POINT

- ▶ 広告映像制作事業の売上が堅調に推移、利益率改善
- ▶ 成長領域と位置づけるソリューション事業の売上が拡大
- ▶ 上記のほか、プリントレスの遅延やグループ事業の整理等で、期初予想を大幅に上回る業績



※前期:2016年12月期、当期:2017年12月期
※前期につきましては、AOI Pro.及びTYOの暦年ベース(プロフォーマ、12月期末ベース)連結業績の単純合算数値を掲載しております。

配当金について

当期の配当につきましては、当期業績が期初予想を上回ったことにより1株当たり年間28円とする期初予想を引き上げ、1株当たり30円(記念配当10円含む)の配当を実施いたします。

当社は連結配当性向30%以上を配当政策の方針としておりますが、当期の連結配当性向は、グループ事業の整理等による税額減少の影響を除外し算出すると、30.5%となります。また、当期は総額289百万円の自己株式取得を行っており、連結配当性向にこれを加味した総還元性向は36.1%となります。

次期の配当につきましては、1株当たり年間30円(普通配当)の配当を実施予定です。

	1株当たり配当金	配当性向	DOE
2017年12月期	30円 (うち記念配当10円)	25.6%	2.9%
2018年12月期(予想)	30円	31.4%	2.8%

Consolidated Earnings Forecast 連結業績予想

2018年12月期(次期) 通期連結業績予想

2018年度の広告費合計は前年度比1.5%増と予測されていますが、媒体別では、インターネット広告の伸びが12.1%増となっており、その中でも成長力の高い動画広告をスマートフォンが牽引する見通しです*。

そのような環境下で、当社グループでは、広告映像制作事業(テレビCM制作を含む)の中長期的な安定成長を図るとともに、成長領域と位置づける広告主直接取引や動画コンテンツマーケティングなどのソリューション事業、並びに海外事業のさらなる拡大を目指し、積極的に先行投資を行ってまいります。

一方で、2017年10月より、テレビCMにおけるプリントレスが始まり、今後、当社グループの売上高の4%程度を占めるCMプリントの売上高が段階的に減少していくことが予想されており、2018年はこの動きが加速するとみられています。

当社グループではすでに、採算性重視の営業管理体制構築を進めており、当期の連結業績においてはプリントレス

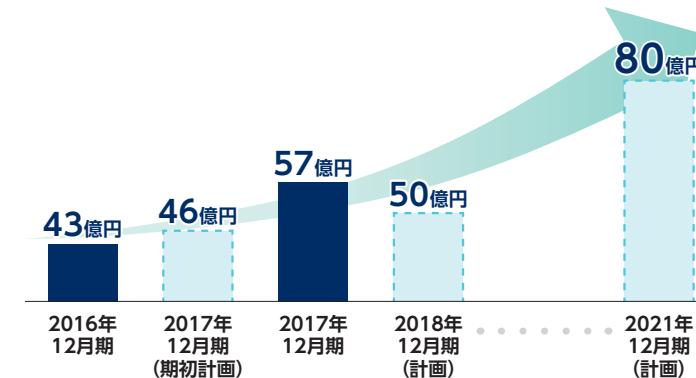
売上高	70,000百万円
営業利益	3,800百万円
経常利益	3,700百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,300百万円

に先行して利益率が改善していること、働き方改革を推進するための受注コントロール等も必要であること等から、次期だけでみると、プリントレスによる売上高、利益のマイナスをカバーしきれず、売上高及び営業利益は踊り場状態となるものと予想しております。

以上のほか、固定資産譲渡に伴う固定資産売却益334百万円の特別利益計上も加味し、次期の連結業績の見通しは、上表のとおりとなります。

※「2018年度の広告費予測」(日本広告研究所)によります。

EBITDA(利払/税/償却前営業利益)の今後の推移について



2018年12月期のEBITDAはプリントレスや先行投資の影響等により当期実績を下回る見通しですが、当社グループでは引き続き利益率改善に注力するとともに、株主資本コストを上回る収益率が期待できるプロジェクトに積極投資し、EBITDAの最大化を図ります。

これにより、2021年12月期はEBITDA 80億円を目指します。

※2016年12月期につきましては、AOI Pro.及びTYOの暦年ベース(プロフォーマ、12月期末ベース)連結業績の単純合算数値を掲載しております。

Shareholder Incentives 株主優待制度

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待制度を導入しております。毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式5単元(500株)以上を保有する株主様を対象に、下記の株主優待を実施いたします。

オリジナルクオカードの贈呈

500株以上保有	クオカード 3,000円分
1,000株以上保有	クオカード 5,000円分
2,000株以上保有	クオカード 10,000円分



撮影付オリジナル写真集の作成

500株以上保有(応募された方の中から抽選で40名)

写真スタジオ事業を展開するグループ会社のホリーホックが、写真スタジオhollyhock東京ミッドタウンにて株主様の撮影を行い、ファッション雑誌のようなタブロイドサイズのオリジナル写真集(商品名:「GraphBook™」)を作成、1冊贈呈いたします。

※株主様のご家族やご友人とご一緒にの撮影も可能です。遠方にお住まいで東京にお越しいただけない株主様には、国内出張撮影で対応いたします。



Company Profile / Stock Information 会社概要・株式情報

会社概要

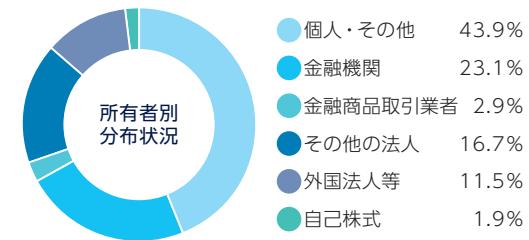
社名	AOI TYO Holdings株式会社
社名(英語表記)	AOI TYO Holdings Inc.
設立	2017年1月4日
資本金	50億円

役員 (2018年3月28日現在)

代表取締役会長 CEO	吉田 博昭	取締役(監査等委員)	八重樫 悟
代表取締役社長 COO	中江 康人	社外取締役(監査等委員)	小久保 崇
専務取締役	譲原 理	社外取締役(監査等委員)	高田 一毅
常務取締役	上窪 弘晃	社外取締役(監査等委員)	萩原 義春

株式の状況 (2017年12月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,566,447株
株主数	12,534名



大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,963,800	8.15
株式会社コスモチャンネル	1,153,740	4.79
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,018,000	4.22
フィールズ株式会社	879,660	3.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	719,100	2.98
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	663,000	2.75
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	415,600	1.73
原 仁	400,000	1.66
原文子	328,000	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	306,700	1.27

※持株比率は自己株式(471,127株)を控除して計算しております。

IRカレンダー



AOI TYO Holdings

広告コンテンツの戦略立案・企画・制作を行う
AOI Pro.とTYOの共同持株会社

URL <http://aoityo.com/>

連結子会社 全30社 連結従業員数 1,650名

AOI Pro.

テレビCMを中心とした映像プロダクション

URL <http://www.aoi-pro.com/>

連結子会社 全17社 (AOI Pro.含む) 連結従業員数 921名



広告会社機能と制作プロダクション機能を併せ持つ、クリエイティブエージェンシー

URL <http://group.tyo.jp/>

連結子会社 全13社 (TYO含む) 連結従業員数 729名

広告映像制作事業



株式会社シースリーフィルム
<http://www.c3film.co.jp/>



株式会社ワサビ
<http://www.wasa-be.co.jp/>



株式会社デジタル・ガーデン
<http://www.dgi.co.jp/>



株式会社メディア・ガーデン
<http://www.media-garden.co.jp/>

ソリューション事業



株式会社大日
<http://www.dai-nichi.co.jp/>

Quark tokyo

株式会社Quark tokyo
<http://www.quark.tokyo/>

SOOTH

SOOTH株式会社※
<http://www.sooth.co.jp/>

海外事業

AOI Asia Beijing

北京奕友广告有限公司
<http://www.aoiasia.cn/>



北京七星明路文化伝播有限公司

AOI Asia Indonesia

PT. AOI ASIA INDONESIA

AOI Asia Thailand

AOI ASIA THAI CO., LTD.

AOI Asia Singapore

AOI Pro. ASIA PTE. LTD.

その他制作事業



KS ISLAND MANAGEMENT MALAYSIA SDN. BHD.
<http://my.ksisland.asia/>



AOI SYSTEMS VIETNAM CO., LTD.
<http://aoi-sys.vn/>



株式会社ティー・ケー・オー
<http://www.tkonet.jp/>

映像関連事業



株式会社ホリーホック
<https://ho-hock.jp/>

広告映像制作事業



株式会社TYOテクニカルランチ
<https://www.ttr-inc.co.jp/>



株式会社ルーデンス
<http://www.ludens.co.jp/>



株式会社MIURA&Company



TYO-ASIA PTE. LTD.

海外事業

その他制作事業



K&L CREATIVE ASIA PTE. LTD.



凱立廣告(上海)有限公司
<http://www.klads.com.cn/>



株式会社TYOデジタル・ワークス
<http://tyo-dw.jp/>



株式会社ケー・アンド・エル
<http://www.kt.co.jp/>

映像関連事業



株式会社ゼオ
<http://www.zeo.co.jp/>



株式会社ペッププランニング
<http://www.pep-p.co.jp/>



株式会社TYOパブリック・リレーションズ
<https://tyopr.jp/>



株式会社祭
<http://www.mazri.com/>

※連結従業員数は2017年12月31日現在のものです。

※SOOTH株式会社は2018年2月1日に設立しました。当社及びAOI Pro.の連結子会社数に含んでおります。

※連結従業員数は2017年12月31日現在のものです。

※TYOでは、TYOオファリングマネジメント部門にてソリューション事業を手掛けております。

※連結会計基準により、連結の範囲に含んでいるAd Hack Ventures有限責任事業組合は、当社及びTYOの連結子会社数、並びに上図には含んでおりません。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (コード：3975)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL http://aoityo.com/ja/ir/publicnotice.html

メール配信

当社の最新のIR情報をEメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。
下記よりご登録いただけます。

<http://aoityo.com/ja/ir/irmail.html>

※携帯電話用メールアドレスでの登録はできません。



AOI TYO Holdings株式会社

141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5階
03-6893-5005 (代表)
<http://aoityo.com/>

